



～皆既月食～

10/08の皆既月食の写真です。

欠け始めは雲で見えませんでした、その後は好天に恵られました。

(2014.10/08, φ76mm 屈折望遠鏡で撮影)

撮影者：三須 幸一郎(知財部門長)

11月の特許相談会

※今月は鳥取地区のみで開催されます。相談をご希望の方は予約をお願いします。

【鳥取地区】

相談員：富田 憲史 弁理士
(医獣・バイオ関係他)

日時：11月6日(木) 13:30より
場所：産学・地域連携推進機構2階 会議室

相談員：下田 一弘 弁理士
(機能性材料・バイオ・太陽電池関係他)

日時：11月5日(水) 13:30より
場所：産学・地域連携推進機構2階 会議室



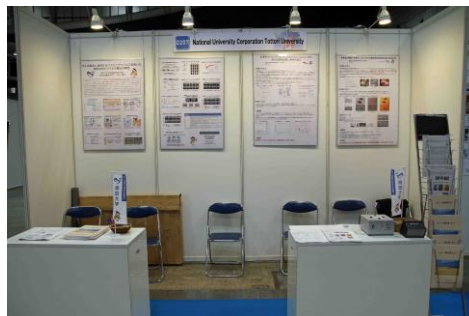
【目次】

11月の特許相談会	1
【報告】「Bio Japan2014」へ出展しました	2-3
【お知らせ】論文等を公開する前に出願を!	4
【報告】特許相談会・発明審査委員会の件数	



Bio Japan 2014に出展しました

- 🍀 日 時：2014年10月15日（水）～17日（金）
10：00～17：00
- 🍀 場 所：パシフィコ横浜
- 🍀 主 催：Bio Japan 組織委員会



* 発表内容 *



出 展 者：鳥取大学 中村 貴史 准教授（医学系研究科）
テ ー マ：がん特異的に増殖するワクシニアウイルスを用いた
革新的がんウイルス療法の開発
プレゼンテーション：10月17日（金）10：55～11：25

現在世界中において、生きたウイルスを利用したがん治療の前臨床研究や臨床試験が積極的に行われている。このがんウイルス療法は、感染した細胞・組織内で増殖伝播しながらそれらを死滅させるというウイルス本来の性質をがん治療に利用する方法である。我々が注目しているワクシニアウイルスのワクチン株は、かつて日本国内で樹立され痘瘡ワクチンとしてヒトに使われ、高い安全性が証明されている。このワクチン株を基に遺伝子組換え技術により改良を加えたワクシニアウイルスについて報告。

* 発表内容 *

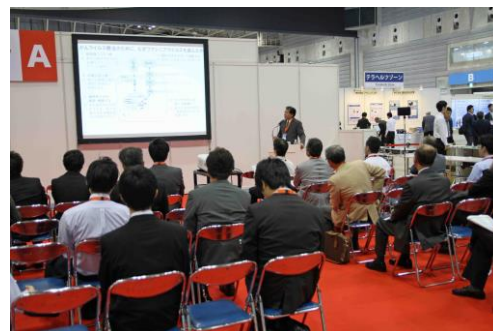


出 展 者：鳥取大学 松本 和也 助教（医学部附属病院）
テ ー マ：膵臓癌の診断効率を高めるバイオマーカーと
デバイスの開発
プレゼンテーション：10月17日（金）11：25～11：55

膵臓治療開始前に採取する検体は微小なため診断困難であり、既存の膵臓癌バイオマーカーの正診率は70%程度と満足できるものではない。これまで当該課題に対して標的検体確認照明器（Target sample check illuminator：TSCI）・血清バイオマーカー（human telomerase reverse transcriptase mRNA：hTERT mRNA）を開発し、効果の検証を続けてきた。本発表ではTSCIおよび血清中hTERT mRNA測定に関する膵臓癌診断への有用性について報告。

【出展内容】

鳥取大学からは、中村貴史先生（医学系研究科）および松本和也先生（医学部附属病院）の特許技術に関する2テーマについてプレゼンテーションおよび展示発表を行いました。プレゼンテーションには、それぞれ約40名の参加者があり、満席に近い聴講者でした。出展ブースにも当該内容に関心を示す企業関係者が約320名訪問し、技術内容について質問等がありました。イベント終了後、実用化に向けた企業との共同研究の調整や情報交換などを実施しています。



【バイोजパン参加者数*】

	合計	15日（水）	16日（木）	17日（金）
参加者数	12,734名	4,084名	4,093名	4,557名

【プレゼンテーション】

発表者	日時	テーマ	聴講者数
中村貴史 先生	10月17日（金） 10：55～11：25	がん特異的に増殖するワクシニアウイルスを用いた革新的がんウイルス療法の開発	34名
松本和也 先生	10月17日（金） 11：25～11：55	膵臓癌の診断効率を高めるバイオマーカーとデバイスの開発	40名

*バイोजパン2014について

バイोजパンは、ライフ、グリーン、機能性食品、バイオクラスター&ベンチャーを中心としたビジネスパートナーリングを基軸に、国内外から25カ国・地域を超える参加者があり、展示会・セミナーとマッチングシステムを通じてバイオ産業のオープンイノベーションを加速させるマッチングイベントです。

(*バイोजパン HP より : <http://www.ics-expo.jp/biojapan/main/outline.html>)

